

第33回 こがねいパレット記録集

ショー
It's 笑タイム!!

笑いで
吹き飛ばせ

こがねいパレット



林家まる子



林家カレー子



こっちゃん(時々)

「第33回こがねいパレット記録集」

発行にあたって

本市が目指す男女共同参画社会は、「男女が互いにその人権を尊重し、認め合い支え合いながら、それぞれの個性と能力を十分に発揮することができ、また、一人ひとりが輝いて生きることができる社会」です。この目指すべき男女共同参画社会実現のため、市では第5次男女共同参画行動計画を策定し、計画に基づいて様々な施策を行っております。今年で33回目を迎える「こがねいパレット」もこの計画に基づき、男女共同参画社会の実現に向け、市と市民実行委員が一緒に行う事業です。

今回の実行委員は女性9名、男性1名の合計10名で、約半年間をかけてテーマから企画まで練り上げてきました。講演内容はもちろんですが、会場の装飾やレイアウトにも力を入れ、林家一門の講師に合わせて寄席の雰囲気を出し、お越しいただいた皆様に楽しみながら男女共同参画を理解していただけるように工夫を凝らしました。

今回は「It's ^{ショー}笑タイム!! 笑いで吹き飛ばせ 暮らしのモヤモヤ」と題し、^{ははこ}母娘漫才コンビとして活躍されている林家まる子さんと林家カレー子さん、そしてまる子さんの娘のこっちゃんも時々登場し、男女共同参画、環境、子育て、世代間の違いなど暮らしの中にあるモヤモヤとした話題を笑いで吹き飛ばし、歌あり、笑いありで会場が一体となった楽しい内容となりました。

当日参加された方も、会場へ来られなかった方も、ぜひ、ご一読いただき、男女共同参画を考えるきっかけになればと思います。

次回の「こがねいパレット」は、また新たな企画で開催いたします。市民の皆様、実行委員への積極的なご参加をお待ちしております。

最後になりましたが、「こがねいパレット」に賛同いただき当日の展示にご協力をいただきました12団体の皆様をはじめ、多くの関係者の方々に厚く御礼申し上げます。

令和2年(2020年)3月

小金井市企画財政部企画政策課男女共同参画室

目 次

第33回こがねいパレット当日の様子	1
実行委員長のあいさつ	4
漫才「It's ^{ショー} 笑タイム!! 笑いで吹き飛ばせ 暮らしのモヤモヤ」	5
こがねいパレットに賛同する団体（展示）のご紹介	18
アンケート結果	25
実行委員の感想、実行委員会の開催記録	31
こがねいパレット開催の足跡	35

第33回こがねいパレット当日の様子

ポスター



舞台



会場



防災ソング披露



漫才



プログラム（表）

第33回 こがねいパレット



市民会館 萌え木ホール

主催 小金井市 企画/運営 第33回こがねいパレット実行委員会

☆こがねいパレットとは

市民と市と一緒にやる男女共同参画推進のための事業で、男女がともにいきいきと暮らせる社会をめざして、市民実行委員により企画・運営しています。（毎年4月頃に、市報・市ホームページ等で新たに実行委員を募集します）

こがねいパレットの名前は、「いろんな色を持つ、いろんな人たちが自分の持つ色を大切に、出会い、交流し、それぞれの色を認めあい、ときには、いくつかの色がまざりあって、新しい色を織りながら誰もが楽しく幸せに暮らせる豊かな社会をつくりだそう」との思いを込めて付けられました。

プログラム（裏）

プログラム

1 開会挨拶（午後1時30分～）

2 親子漫才（午後1時40分～）

『It's 笑タイム!! 笑いで吹き飛ばせ 暮らしのモヤモヤ』
（環境、子育て、世代間の違いなど）

3 質疑応答

4 閉会（午後3時15分）

※ 途中休憩は設けておりません。

■プロフィール■

・林家 まる子
タレント、いばらき大使、
日光観光大使、防災士

・林家 カレー子
環境省推薦漫才師、環境カウンセラー、環境大臣賞受賞、防災士

・こっちゃん
林家まる子さんの娘 漫才にも時々登場します。



林家まる子

林家カレー子

こっちゃん(時々)

■こがねいパレットに賛同する団体■

（五十音順）

保育サポーターグループ アンファン
小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会
小金井市子ども家庭支援センター ゆりかご
こがねい女性ネットワーク
マザーズハローワーク立川
NPO法人 木馬の会 小金井おもちゃライブラリー
企画政策課 男女共同参画室

聞いてきての会
NPO法人 こがねい子ども遊パーク
公益社団法人 小金井市シルバー人材センター
小金井玉川上水の自然を守る会
子育て支援&多世代交流サロン みんなの家
NPO法人 らくビット

実行委員長のあいさつ

実行委員長 川原 美紀



みなさん、こんにちは。第33回こがねいパレット実行委員長を務めております、川原美紀です。今年で実行委員5年目になります、どうぞよろしくお願いいたします。

「こがねいパレット」とは、市民と市が一緒に行う小金井市の男女共同参画推進のための事業で、今年で33回目を迎えます。「こがねいパレット」という名称は、いろいろな色を持つそれぞれの人が、自分の持つ色を大切に、出逢い、交流して欲しいとの願いで名付けられ、男女がいきいき暮らせる社会を目指して、市民の実行委員がアイデアを出し合い、企画・運営しています。今年は10人の市民実行委員が、約半年間かけて何度も話し合いを重ねて作り上げました。

本日は、母娘漫才コンビの林家まる子さん、林家カレー子さん、そしてまるさんの娘さんのこっちゃんをお招きし、環境、子育て、世代間の違いなどについて、日ごろのモヤモヤを笑いで吹き飛ばしていただきます。

私も一昨年父を見送り、娘もこっちゃんと同じ歳で、女3世代で集まる事も多いので、共感ゾーンが沢山ありそうでとても楽しみです。

本日のイベントで気付いた事、知った事、感じた事を、是非ご家族、お友達と分かち合ってください。

最後になりましたが、本日、ご出演をお引き受けいただきました林家まる子さん、カレー子さん、そして、こっちゃんに改めてお礼を申し上げますとともに、ご多忙の中、ご出席いただきました皆様、また展示にご協力をいただきました各団体の皆様にお礼を申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

第33回こがねいパレット

It's 笑タイム!!

笑いで吹き飛ばせ 暮らしのモヤモヤ

漫
才



【まる子・カレー子】 はいどーも。

【まる子】 丸（まる）く納める華麗（カレー）な漫才！まる子、

【カレー子】 カレー子の、

【まる子・カレー子】 ^{ははこ}母娘漫才！！

【まる子】 こがねいパレットにお集まりのみなさま、こんにちは！私たちは日本で1組しかいない母娘漫才のまる子と。

【カレー子】 カレー子です。

【まる子】 そして今日は、私の娘、7歳のこっちゃんも来ています。

【こっちゃん】 よろしくお願ひします。

【まる子】 こっちゃんには後で歌も歌ってもらいます。

【まる子・カレー子・こっちゃん】 どうぞよろしくお願ひいたします。

【カレー子】 今日は男女共同参画というテーマで、これから3時間ほどしゃべらせていただきます。

【まる子】 何言っているの！1時間ほどお付き合いいただきたいと思います。

【カレー子】 私たちは環境をテーマにした環境漫才というものをしているんです。今年の2月には環境省より環境大臣賞を受賞させていただきました。

【まる子】 カレー子は環境カウンセラーなのですがじつは私たち二人、防災士なんです！

【カレー子】 ぼーっとした妻子じゃないですよ。

【まる子】 今年の9月1日防災の日に合わせて「防災ソング 今すぐはじめよう」という曲をリリースさせていただきました。いま、YouTubeで火がついております！本日はせっくなのでみなさんにも聞いてもらいたと思います。

【カレー子】 生ライブですからね。みなさん貴重ですよ。

【まる子】 それではお聞きください「防災ソング 今すぐはじめよう」です！



【まる子】 昔は、天災は忘れたころにやってくる。

【カレー子】 本当に昔は忘れたころでしたよね。

【まる子】 ところが、今は、災害は忘れる前にやってくるんですね。

【カレー子】 今は、本当に続いて来ますからね。

【まる子】 そうなんです。また、気候も変わりましたよね。

【カレー子】 変わりました。それは地球の・・・

【まる子・カレー子】 温暖化！！

【カレー子】 大きな、問題がありましたよね。



【まる子】　そうですよ。環境問題と防災というのはね、実は連動してるんですよ。

【カレー子】　本当ですよ。思いは・・・

【まる子・カレー子】　地球規模で!!

【カレー子】　行動は・・・

【まる子・カレー子】　足元から!!

【カレー子】　この足元のちっちゃなことが、実は、防災も環境も全部大事だということなんです。

【まる子】　そうなんです。この「環境」があって私たち30年近くやっておりまして。

【カレー子】　そうなんです。

【まる子】　何とですね、今年の2月に環境大臣賞というのを受賞させていただきました。(拍手)



【まる子】　ありがとうございます。

【カレー子】　すごいですよ、夫の林家ライスが亡くなったのが去年の2月24日で、環境大臣賞がわかったのが今年の2月24日でございます。

【まる子】　そうなんです。

【カレー子】　ライちゃんの命日でございますからね。

【まる子】　お父さんからのプレゼントだったね。

【カレー子】　びっくりしましたね。

【まる子】　ちょうど70歳の古希。古希のお誕生日だったね。

【カレー子】　私もね、嫌な予感がしたんですよ。古希でしょう、これから使われるんじゃないかなと。

【まる子】　こき使いますよ。

【カレー子】　こき使われるような気がしますね。

【まる子】　本当に、葬儀の日とお誕生日の日が一緒だったんです。

【カレー子】　そう、同じだったんですね。

【まる子】　そうそう、ろうそくの使い回し。

【カレー子】　これ、環境にも優しいです。

【まる子】　エコロジーですよ。

【カレー子】　皆様、私、環境カウンセラー、環境保全表彰第1号なんです。

【まる子】　そうなんです。市民部門で第1号をいただいたんです。

(拍手)

【カレー子】　ありがとうございます。私ね、第1号で本当によかったと思って。

【まる子】　そうなんです。第1号ということで、この間、小泉環境大臣に、表敬訪問させていただいてね。

【カレー子】　びっくりしましたね。

【カレー子】　地球柄のスカートをはいていったんですよ。

【まる子】　生地が地球柄の。

【カレー子】　そうしたら、それを大臣が見てね、「あっ、それは地球の柄ですね。それなら立って写真を撮ったほうがよろしいですね」って、こっちもね、つい、それに乗っかりましてね、「じゃあね、ツーショットをお願いします」なんて。

【まる子】　そうなんです。

【カレー子】　そうやって一人ずつに気を遣うっていうのはね、ありがたいと思いましたね。

【まる子】　学びましたね。すごいと思いましたね。

【カレー子】　みんなで一人ずつやるのが大事。だから、男女共同参画も一人ひとりなんです。

【まる子】　男女共同参画というと、うちの両親は共働きなんですよ。

【カレー子】　そう。ライスとカレー子は。

【まる子】　私、共働きの家に生まれて育ったわけですよ。お父さんがパンツ一丁でエプロンしてお茶碗洗うっていう姿を見て。

【カレー子】　そうそう。

【まる子】　それを見て育った私が、10年前に結婚したんですけど、結婚した相手が、昔ながらの家庭で育った男の人と結婚しちゃったから。



【カレー子】 そうなんですよ。

【まる子】 だから、夫は、男の人がお茶碗洗うとか、洗濯するとか、アイロンかけるとか、ご飯作るとかが当たり前じゃない家庭で育ってきているんです。

【カレー子】 うちの、ライスがお茶碗を洗うのは当たり前、それから、アイロンなんてね、プロですね。

【まる子】 本当にうまいですよ。お父さんがかけてるのしか見たことがない。

【カレー子】 そう。それが、分担なんですよ。それで、私が環境カウンセラーになるときにね、質問されたんです。

【まる子】 どんな？

【カレー子】 面接のときですよ、ライス、カレー子さん、なぜカレー子さんしか環境カウンセラーでないんですかって、聞かれましたからね。

【まる子】 本当だ、ライスさん何て言ったんですか。

【カレー子】 私ね、思いっきり手挙げましたよ。はいって手を挙げましてね、我が家は、男女共同参画家庭なんでございまして、私が論文を書いているときは、夫がご飯を作らなきゃいけないんですよって言ったらね、わーっとうけましてね、合格でございます。

【まる子】 なるほどね、合格だったんですね。

【カレー子】 当たり前ですよ。

【まる子】 そういう家で育ってるから、男女共同参画のネイティブなわけですよ、ライスさんは。でも、私の夫は、そういう環境で育ってないから何もやらないんです。

【カレー子】 ひいばあちゃんに男性は台所に入っ

ちゃいけないって言われていたみたいでね。

【まる子】 そう。だから、洗い物してってお願いしたら、ひいばあちゃんに怒られるからできませんって。

【カレー子】 この男女共同参画はね、後ろ姿を見てるんですよ。つい最近、ある研究所の所長の男性が育休を取ったんですよ。

【まる子】 すごいじゃない。

【カレー子】 育休を取ったんですけど、自分の父親は仕事一筋で、その姿見て育ってきているわけですよ。それで、自分は育休を取るとなると心が苦しいんですって。また、同じ職場で育休をとってない男性もいるんだって。

【まる子】 やっぱりまだそうだよな。

【カレー子】 とってない人もいるのに自分がとっていいものかどうか。そうやって悩む今は大変かもしれない。

【まる子】 今は変革期だからね。

【カレー子】 そう。それで、こんな人もいましたね。子どもが2人いるお母さんがいましてね。男の子と女の子。それで、二人とも結婚して家庭を持って、ああ、めでたしめでたし。それで、そのお母ちゃんが、自分の娘のうちへ行っただんです。

【まる子】 娘の家に行きました。

【カレー子】 そうしたらね、娘の夫がよくできた人で、洗濯物を取り入れてくれたりしてくるんですって。

【まる子】 いいじゃない。

【カレー子】 お茶碗を洗ってくれたりもするから、お母さん喜んでね、ああ、うちの娘はいい相手と結婚したって言って帰ってきました。

【まる子】 それはうれしいですよな。

【カレー子】 それでまたしばらくして、今度は息子のところに行っただんです。

【まる子】 息子のところに。



【カレー子】 そうしたら、今度は自分の息子がね、お茶碗洗ったりね、洗濯物取り込んでたんです。

【まる子】 息子さんが、取り込んでた。

【カレー子】 それを見たお母さんは、何て妻だって。

【まる子】 えー。

【カレー子】 そうじゃないだろと。何なんだって、それ。おかしいでしょって。まだ、そういう何か、昔の感覚が残っているんですよ。

【まる子】 うーん、まだ、そういう名残りがあ
るんですかね。

【カレー子】 うん。やっぱり、あるですよ。

【まる子】 二、三世代、ちょっとね、そういう
混乱期があつて。根付くのかな。

【カレー子】 今月いい夫婦の日っていうのがあり
ましたけど、その前の11月19日に国際男性デー
っていうのがあったの知ってます？

【まる子】 何ですか、それ。

【カレー子】 女性デーの反対ですよ。男性もね、
男女共同参画じゃないけど悩んでるらしいのよ。

【まる子】 え、どんな？

【カレー子】 自分が女性を引っ張っていかなくちゃ
いけないんだとかね、そういうことに悩んでるらし
いんですよ。だから、男性も女性もやっぱり悩みは
あります。アンケートを取ったら、男性の50%は、
家事分担してますっていうことをね、ちゃんとアン
ケートには書いてる。

【まる子】 50%はそうじゃないってことだよ
ね？

【カレー子】 そう、50%は違う。だけど、家事
分担しますっていう人も、思いがあるけど、その思
いが行動になるかどうかっていうのは別なんですか
ね。やっぱり、これ、どうなんですかね。

【まる子】 うちの結婚して10年かけて、やっ
と変わってきたんですけど。それまでは、大変で
した。皆さん、子育てって忙しいじゃないですか。
それで、疲れて茶碗を洗わずに寝ちゃったんです。
そんな経験ないですか？

【カレー子】 ありますよ。あります。

【まる子】 明日の朝でいいやって思っていたん
です。そうしたら、朝起きてきて、夫にぽつんと言
われたのが、「お茶碗はその日のうちに洗ってね」っ
て言われたの。おかしくないですか？私も仕事と子



育てで忙しくて疲れているのにこれはおかしいな
と思って、口で言うとけんかになるから、漫画で書
きましたね。口を出すな手を出せよって。

【カレー子】 うちの夫、林家ライスは偉かったで
すよ。

【まる子】 どう偉かったんですか？

【カレー子】 あと数時間後に死ぬっていう最後の
日に、「ママ、僕がお茶碗洗って上に行くから、マ
マ先に上がっててよ」って。

【まる子】 上になって、2階じゃなくてもっと上
に逝っちゃったんだ。

【カレー子】 そう。エプロンかけて、死ぬ間際
にお茶碗洗ってたんですよ。

【まる子】 洗ってたね、お茶碗洗い切って、上
へ上がってたね。

【カレー子】 それで、最後、彼はね、お酒を飲
んでたんですよ。

【まる子】 お酒飲んでました。

【カレー子】 すごいよ、名前がすごいですよ。

【まる子・カレー子】 `晴れ舞台`

【まる子】 いい銘柄じゃないですか。

【カレー子】 `晴れ舞台`、いい銘柄でしょ。

【まる子】 スーパーのカップ酒を飲み干してい
ったわけなんですけれども。

【カレー子】 でも、いいじゃないですか。名前が
晴れ舞台だからね。

【まる子】 `晴れ舞台`を飲んで逝ったからお葬
式が晴れ舞台みたいでしたね。

【カレー子】 そうなんですよ、亡くなる3日前に
ね、おかみさんところに行きましたらね、おかみさん
こう言ったんですよ。「ライスさんが来たから、おい
しいお酒出してあげて」って。

【まる子】 お酒大好きなんでね。

【カレー子】 そうしたら、お酒飲みながら、亡くなったときの話をしてね、亡くなったら顔に布かけるかどうかって、こんな話してんだから。亡くなる3日前ですよ。

【まる子】 そうそうそう、ぴんぴんころりと逝きたいわねみたいな、お互い妙齢だからね。どうやって死んでくかっていう話をしてみたいですよ。

【カレー子】 そうしたらね、おかみさんは、私は絶対に、布をかけて顔をさらさないわよって言ってたんです。

【まる子】 それでね、3日後に亡くなったら、おかみさんが来て、「あら、まれに見るいい顔で寝てるわね」って言ってね。

【まる子】 生きてるときよりいい顔じゃないって。

【カレー子】 それで一言言った言葉がね、「あんた、生き方下手だったけど、死に方はうまいわね」って。

【まる子】 うまいわねって。ぴんぴんころりでね。ライスさんの、本当の思いに、介護するのもさせるのも嫌だっというのがあったのね。最期までお酒を飲みたい、家で死にたい、最期まで芸人を全うしたいと、全部かなえてきましたね。

【カレー子】 そう。だってあれですよ、午前0時まで平昌オリンピック見て。

【まる子】 そう、お酒飲んでね。

【カレー子】 それでね、その前に天丼食べて。

【まる子】 そう。で、その前に、床屋に行って。

【カレー子】 沖縄の仕事行く前の日ですからね。

【まる子】 そうそう、そうそう。

【カレー子】 沖縄だから、頭ぴっと揃えて、顔剃って。

【まる子】 ぴっとセットして、ひげも全部きれいに剃ってもらって、それで、お酒飲んで、大好きな天丼食べて。

【カレー子】 食べて。それで、「じゃあ、僕を5時まで眠らせて」って言って、永久に寝ちゃったんですよ。

【まる子】 そうそう。もうすごくきれいにセットされてね。でも、本当、最後にお茶碗洗ったんで、すごいいい人だったなって思うよね。

【カレー子】 最後にお茶碗割っていなくなったら、とんでもねえやろうだってなるけど、最後、お茶碗

洗って亡くなったんですからね。

【まる子】 いい人だ。終わりよければ全てよし。

【カレー子】 皆さんも最後にお茶碗洗っていただきたいと思います。みんな誉められますよ。

【まる子】 でも、すごい家事頑張ったお父さんだったね。

【カレー子】 そう。どういう家で育ったかっていうので、違いはあると思いますよ。

【まる子】 だから、私みたいに、上げ膳据え膳の家庭で育った人と結婚するって、本当にいちから教育しないと、お茶碗も洗わないし、お風呂も洗わないし。夫が妻に「おい飯、お茶、お菓子、お風呂」って言うのは、漫画だけの世界かと思っていたんですよ。



【カレー子】 でも、ライスさん言ってましたよ。「おい飯、おいお茶でもいいけれども、月に50万とってきたら、おい飯でもいいよ」って言った。

【まる子】 うちのほら、芸人の家で育ってるわけですよ。芸人さんって、ギャラとご祝儀だけで生きてるわけですね。

【カレー子】 そうですよ。

【まる子】 お給料がないし、不安定だし、保障も何にもないなって。

【カレー子】 何にもないです。

【まる子】 だから、小学校のときに私は必ず継続安定収入の公務員と結婚しようって言ってたんですけど、何でだか知らないけど、結婚したのがファイトマネーで生きてるプロボクサーだったわけで。

【カレー子】 そうなんです。

【まる子】 でも、収入は安定してるんですよ、低いところで。それプラス家事をやらないってどういことだと思ってね。そこから、いちからやって、10年かけてやっとこお風呂洗い。

【カレー子】 時間がかかるってことですよ。でもね、今日みたいなイベントって大事なんですよ。

【まる子】 大事、大事。

【カレー子】 こういうイベントでそういうことを話して、毛穴から染み込ませていかないよ。

【まる子】 そうそう。

【カレー子】 放置してたらそのままいっちゃいますからね。だから、絶えずね、こういうふうに染み込ませていくことが大事です。

【まる子】 そうそう、啓発、啓発。世の中の流れは変わってるんですよ。

【カレー子】 変わってますよ。

【まる子】 そのままで化石になりますよってね。生きた化石に。

【カレー子】 本当、本当。

【まる子】 ダイヤモンドの原石だと思っていませんかですけど、原石は磨いたら光るけど、岩石は光らないんですよ。

【カレー子】 岩石は、崩れてきます。

【まる子】 でも、2か月ぐらい前からお茶碗洗うようになったんです。

【カレー子】 あっ、すごい。効果あったじゃない。やっぱり努力しないといけない。

【まる子】 どうしてかっていうと、私、友達に愚痴ったんですよ。こんなことされてたら、ちょっと離婚も考えざるを得ないよねって。これが、回り回って本人の耳に入ったらしくて、その日からお茶碗洗い始めたんです。

【カレー子】 大事なことですよ。

【まる子】 言ってみるもんだね。

【カレー子】 そう、大事なことですよ。言ってみるもの、やってみるもの、何でもね、試してみるものが大事です。

【まる子】 本当。人は変わるっていうことがわかったんで、たぶん教育をしていくのが大事なのがなって思いますね。

【カレー子】 そうそう。だから、こういうイベントが大事だっていうことですよ。

【まる子】 大事です。今はもう法律で決まっていますからね。

【カレー子】 そう、男女共同参画社会基本法。この男女共同参画って、男性でも女性でも、今はね、

二つじゃないですから。

【まる子】 いろいろな方がいますからね。

【カレー子】 そう。もしかしたら私だってそうかもしれない。こっちゃんだってそうかもしれない。

【まる子】 わからない。

【カレー子】 いろんな人がいます。差別はね、言葉でわかります。「くせに」っていう言葉が出たらもう差別ですよ。

【まる子】 あ、「くせに」はだめだね。「女のくせに」とか。

【カレー子】 そう。女の子がね、元気だったら、女のくせに。男の子が昆虫嫌いだったら。

【まる子】 男のくせに。

【カレー子】 それから、子どもが、ちょっと生意気なこと言うと、子どものくせにと。言いません？

何とかのくせにて。

【まる子】 これはね、もう今の時代は、違うんだよね。

【カレー子】 そう。「くせに」はやめてください。「くせに」は。癖になりますから。

【まる子】 なるほど。

【カレー子】 だから、一番大事なものは、環境問題でも防災でも、こういう問題でも何でもそうですけど、リスペクト。リスペクトが大事なんですよ。

【まる子】 リスペクト、尊敬する。

【カレー子】 そう。

【まる子】 じゃ、私も夫のことを尊敬しないとだめなんだね。

【カレー子】 そう。尊敬しながらうまく進めるんですよ。

【カレー子】 私ね、環境問題で、ごみを減らすっていうので、3Rってあるでしょう。



【まる子】 ちょっと確認してみましょうか、3 R。

【まる子・カレー子】 リデュース、リユース、リサイクル。

【カレー子】 ワンガリ・マータイさんっていうケニアの環境副大臣で。

【まる子】 ノーベル賞を受賞した方。

【カレー子】 あの方が、日本の「もったいない」がどうしてすごいのかって言ったら、このリデュース、リユース、リサイクルにプラスリスペクトがあるからだって。そのものへの尊敬。食べ物が自分の使命を果たせないで、食べられずに捨てられちゃってる。

【まる子】 それ、もったいない。

【カレー子】 洋服もまだ着られるのに、自分の趣味に合わないっていうんで、誰かまだ着られるのにそのまま可燃ごみで出しちゃった。これ、もったいない。

【まる子】 もったいない。

【カレー子】 洋服の使命を果たせない。そのもったいないって、リスペクトにマータイさんは感動したわけですよ。

【まる子】 で、この「もったいない」を世界に広めてくださった。

【カレー子】 だから、リスペクトって大事なんですよ。だから、男女共同参画でもね、ただ男女平等だからって言ったって、相手も聞かないの。

【まる子】 そうなんです。

【カレー子】 だから、相手を尊敬しないと。尊敬してね、尊敬してる中に織り込めるんですよ。

【まる子】 尊敬するところがない場合はどうすればいいですか。

【カレー子】 それ、難しいね。

【まる子】 でもね、私も相談したことがあるんですよ。うちの夫はかれこれこんなんだって言ったら、いいところ1個ぐらいあるでしょうって。そういうのを見つける、こっちの努力も必要だよ。

【カレー子】 そうそう、そうなんですよ。

【まる子】 いいところを見ていこうっていうことだね。

【カレー子】 そう。とりあえず同じ空気吸ってるんだから。

【まる子】 でも何で、ライスさんと結婚したの？

背丈もないし、収入もないし、特にかっこよくもないし。

【カレー子】 結婚したとき、収入3万円。3万円で、家賃1万円で残り2万円ですよ。

【まる子】 前の奥さんに捨てられてたんだよね。

【カレー子】 そう、だから、私はリユースしたんですよ。

【まる子】 リサイクル品なんです。

【カレー子】 すごいでしょう。この資源はまだ使えるじゃないかって。もったいない。

【まる子】 そう、もったいない。夫として再利用。

【カレー子】 そう。再利用させていただいた。ただリユースすればいいってもんじゃない。長く大事に使わなきゃいけない。

【まる子】 長く大事に使い切りました。76歳までね。

【カレー子】 それで、去年送ったんですけど。

【まる子】 送りました。そうしたらね、この人、火葬場とね、焼却炉間違えて。もう頼みますよ、本当。

【カレー子】 あのね、環境漫才やってるとね、火葬場なんて言葉、頭に浮かびません。浮かぶのは焼却炉しかないんですよ。

【まる子】 告別式の後、次は焼却炉だって。焼却炉じゃなくて、火葬場だから。あれはびっくりしましたけど。

【カレー子】 そうそう。でもね、頭の中にはちゃんと火葬場になっていたんだけど。

【まる子】 言葉に出たのは焼却炉だったね。



【まる子】 で、何で結婚したの？

【カレー子】 収入はないしね。昔、3高っていうのがあってね。3高。収入が高い、身長が高い。学歴が高い。

【まる子】 その真逆。何も当てはまらない。

【カレー子】 それがおもしろいですよ。人生はね、規格外がおもしろいんですよ。味があるんですよ。貧乏を乗り越えて、漫才をやる。でも私が、漫才やることになるなんて思ってなかったです。

【まる子】 そうだよな。

【カレー子】 まさか、6畳一間でね、漫才やると思ってなかったからね。

【カレー子】 ライスは師匠とけんかして、一度、林家一門をやめちゃってるんですよ。でも三平師匠から迎え入れてくれるっていう話があって。私は、三平師匠のところへ挨拶に行ったんです。正座している三平師匠に向かって両手をついて、「師匠、このたびはうちの夫を一門に入れていただきましてありがとうございます」って言って廊下すれすれの所まで頭を下げたの。

【カレー子】 それで私が頭を上げたんですよ。そうしたら、三平師匠のほうか、「あ、あなたがライスさんのおかみさんですか」って言ってね、畳におでこがぺたーってついてたんですよ。

【まる子】 えーっ、師匠なのに？

【カレー子】 そう、大師匠。それも大スター。弟子だってそんなことやらない。それをね、師匠がやったんですよ。私はね、びっくりしちゃってね、「師匠、よろしくお願いします」って思いつ切りね、廊下にだーんと頭ぶつけて、いまだにちょっと後遺症がある。

【まる子】 なるほど。それでちょっとおかしいことになったんですね。

【カレー子】 そうそうそう。そのぐらい、師匠は差別をしない。

【まる子】 ああ、そうですね。

【カレー子】 だからね、私は、男女共同参画の話をするときは、いつも、私は三平師匠を思い出します。

【まる子】 そうですね。

【カレー子】 お正月にお餅をいただくんですけど、元旦に近所のおばちゃんたちがいっぱい来て台所に立ってるわけ。それで、師匠は、まだ紋服に着替える前ですよ。3階からとんとんとんとんと降りてきてね、1人ずつに、「よろしくお願いします」って。もう、こうやって頭を、90度に下げるんですよ。私たちはね、師匠より下げなきゃいけないから、もう屈伸運動ですよ。もうそうやって、三平師匠がね、男、女、子どもも差別しない。公演のときにちっちゃな子が入ってくるでしょう。そうすると、その子に向けてしゃべるんですよ。もう「ウルトラマン」なんつってね。今までのネタやめちゃって、その子を、持ち上げるわけ。だからね、三平師匠は、一人ひとりをリスペクトしてたんだなって。だから、男女共同参画もね、私が思うには、やっぱり相手をリスペクトしてあげることが一番いいんじゃないですかね。

【まる子】 なるほど。



【カレー子】 保育園に通っていた息子が、みんなお父さんなのに、なんでうちはおじいちゃんだって言うんですよ。

【まる子】 歳を取ってからの子だったからね。

【カレー子】 だからね、すごい責めるんですよ。

【まる子】 何で？

【カレー子】 何でうちの父ちゃんはいいちゃんなんだと。

【まる子】 なるほど、なるほど。

【カレー子】 そういうときにね、私が強く「お前、何言ってるんだ」ってね、びしって言えばよかったのね。「ごめんよ」って謝っちゃった。

【まる子】 謝っちゃった。

【カレー子】 こりゃ大変ですよ、謝っちゃったら子どもの怒りが。子どもが最初に怒ってきたときに、母ちゃんが、「お前、ばかなこと言うんじゃない。お前のお父さんは立派なんだ」ってびしって言えばいいの。

【まる子】 そうだ、そうだ。

【カレー子】 「ごめんよ」なんて謝っちゃいけない。

【まる子】 お父さんに「それ、ごめんね」って、謝られてたら、ちょっと私、卑屈になったかもしれないね。

【カレー子】 そうそう。謝ったらだめ。



林家ライス、まる子、カレー子

【カレー子】 また、うちのライスはね、普通に名前を呼ばないんですよ。名前があるのに名前を呼ばない、お嬢と坊ちゃんって呼ぶんです。

【まる子】 そう。私たちもお嬢と坊ちゃんて育てられたんですよ。美空ひばりさんが好きでね、お嬢お嬢で育てられたんです。

【カレー子】 すごいでしょ、家の周りには割りとお金持ちの家が多いんです。

【まる子】 そう。本当のお嬢がいっぱいいる中で。

【カレー子】 そこへ鼻を垂らして、泥だらけになった子どもたちを、お嬢だ坊ちゃんだって呼んで歩くおとつあんがいるって。それがうちのライスですけどね。それで、うちの子どもたちはお嬢と坊ちゃんて育てられちゃったんだけど、中学生になったら、はたと現実に目覚めたわけね。あっ、私はお嬢じゃないって。お嬢はいっぱいいるって。そこで、ライスに言ったわけですよ。「お父さん、私のことをお嬢って言うのやめて。私はお嬢じゃないんだから」って言ったときのライスの対応がすごいですよ。「お嬢」、ちょちょちょって呼んでね、財布を出して、1,000円をぺらってこうやって、「この1,000円でお嬢と呼ばせておくれ」って買収した。

【まる子】 買収されたんですよ。それじゃ仕方ない、呼んでいいよってね、買収されました。

【カレー子】 そうしたら、今度は、息子、坊ちゃんが反抗期になりました。「俺は、坊ちゃんじゃねえ」ってね。

【まる子】 そう。坊ちゃんて呼ぶなって。

【カレー子】 そうしたらライスはね、「坊ちゃん、

ちょっといらっしやい」って呼んで、お財布から、ぺろっと1,000円札出して、「これで坊ちゃんって呼ばせておくれ」って。これも1,000円で買収ですよ。それで、死ぬ間際までお嬢と坊ちゃん。

【まる子】 そう、買収成功だね。

【カレー子】 でもね、ライスはね、自分の子どもだけじゃなくて、近所の若い子、全部にお嬢と坊ちゃんって呼ぶんですよ。そうしたらね、ライスが亡くなったときにね、かわいがってお嬢って呼んでいた近所の子が、亡くなったライスのところに来て泣いてね、「私のことお嬢って呼んでくれる人がいなくなった」って泣いてましたからね。

【まる子】 いろんな人をリスペクトしていたからね。

【カレー子】 そう。リスペクト。

【まる子】 そうそう。そうするといろんな人に愛されるのかなって思いますね。

【カレー子】 そうです。そうするとね、いろんな問題が、そんな大きくならなくて、解決のほうに滑らかに行きます。敵対視しちゃいけないね。

【まる子】 近所もね、全部ね、リスペクトですよ。



【カレー子】 そうそうそう。もめない。仲よく、リスペクト。こういうことですね。あと、環境も、男女共同参画もみんな、A、B、Cですからね。

【まる子】 A、B、C?何でしょう、A、B、Cって。

【カレー子】 A。Aはね、『当たり前のことを』

【まる子】 『当たり前のことを』

【カレー子】 例えば、挨拶なんてそうでしょう。当たり前じゃないですか。

【まる子】 当たり前です。今はマンションが多いからね、隣に誰が住んでるかわかんないみたいなことも多いですよ。

【カレー子】 そうなんですよ。

【まる子】 そう。そういう近所づき合いしたくないからマンションに引っ越してきたっていう人もいるみたいなんですよ。

【カレー子】 それでね、うちの前に通りがありまして、その通りはみんな仲がいいんですよ。何で仲がいいかっていうと、昔から住んでる人が3人立ち上がってね、みんなで食事会をしましょうって呼びかけたんですよ。そうしたらね、すごいですよ、みんな食事会だと来るんですよ。この人どこに住んでいたのかな、どっかで見たことあるこの顔っていう人もたくさん来て。

【まる子】 名前もわからない人も。

【カレー子】 それで、ご飯食べるとみんな仲よくなるのね。町内防災会までできちゃったの。

【まる子】 そう。仲よくないと防災にならないですよ。

【カレー子】 そう。それでね、赤い布なんか配ったんですよ。

【まる子】 それ何で使うんですか。

【カレー子】 この赤い布を出せば、このうちは元気っていう目印になるんですよ。

【まる子】 何か、災害があったときにね。

【カレー子】 そうそう。で、逆に出てないうちがあると、何かあったということがわかるんです。

【カレー子】 そういうことを始めたら、みんな挨拶をするようになったんですよ。

【まる子】 そう。だって、今はインターネットで世界と繋がってるんですけど、近所と繋がってない人が多いですよ。

【カレー子】 そうですよ。だから、当たり前のことを、当たり前にちゃんと挨拶をする。

【まる子】 これが、A、B、CのAですよ。挨拶。当たり前のこと。

【カレー子】 B。Bは、『ばかにしないで』

【まる子】 『ばかにしないで』

【カレー子】 Cは、『ちゃんとやる』

【まる子】 『ちゃんとやる』

【まる子・カレー子】 『当たり前のことを、ばかにしないで、ちゃんとやる』

【カレー子】 これはちょっとね、覚えていただきたいなと思って。

【まる子】 A、B、Cでございます。

【カレー子】 ちょっと皆さん覚えました？

【まる子】 これが防災にも環境にも。

【カレー子】 男女共同参画にも大事ですよ。当たり前のことをばかにしないでちゃんとやる。

【まる子】 当たり前のことをばかにしないで、ちゃんと茶碗を洗うってことだね。

【カレー子】 それが、大事です。

【まる子】 夫婦二人ともね。

【カレー子】 そうです二人でやるんです。

さて、ちょっとここで気合いを入れるためにも音楽をやりますか。

【まる子】 そうですね。実は、私たち、先ほどは防災ソング「今すぐはじめよう」という歌でしたが、環境ソングも出しております。環境ソング「いのち^{もったいない}MOTTAINAI」という歌をリリースしております。これは全員参加型でございます。

それでは、体操のお姉さん、指導をお願いします。

【カレー子】 それではいきましょう、環境ソング「いのち^{もったいない}MOTTAINAI」。



【カレー子】 私もこないだこう言われたんですよ。「あ、カレー子さん。カレー子さんって独身ですね。」って言われたんですよ。

【まる子】 うん。

【カレー子】 それで、私、独身？って思ったの。だから独身だと思ってないわけよ。いやね、いつも、まだまだライスがいると思ってるから。言われて、改めてね、独身だと思ったんですよ。

【まる子】 そう。独身でございますよ。

【カレー子】 そう。びっくりしちゃった。驚きましたよ。つまりね、独身でもね、既婚者でも何でもいいんですよ。背がちっちゃかろうが、大きかろうが、太ってようが、やせてようがね、男でも、女でもね、子どもでも何でもいいの。とにかく自立すること、自立。男女共同参画は自分が自立をすることですよ。

【まる子】 そうですね。

【カレー子】 自立。

【まる子】 頼るとか頼られるじゃなくて。

【カレー子】 じゃなくて、自立する。

【まる子】 お互いがお互いをリスペクトして自立して生きていくってことなんでしょうね。

【カレー子】 そう。これに限りますね、私の結論としてはね。

お互いをリスペクトしながら自立して、相手がちょっとおかしくても、包容力で。

【まる子】 包容力。

【カレー子】 そう。自分だっておかしいところがある。



【まる子】 昨日、私、小学校の同窓会だったんです。みんなすごい仲良しで、毎年、小学校のクラス全員で、1組、2組、3組、4組合同でやってるんですけど。

【カレー子】 やってますよね。

【まる子】 そう。大体みんないい年になるじゃないですか。

【カレー子】 いい年ですよ。

【まる子】 「何歳になったー？」って言うから、「同じだよ！」って言ったんだけどね。あ、そっかーと。おじさんみたいな人がいて、あれ、今日、先生来てるんだと思ったら、同級生だったから、びっくりして。

【カレー子】 そう。それで、お互いにこんなこと言うんですよ、「変わらないね」って。

【まる子】 そうそう。でもね、本当に、なぜ仲がいいのなって。卒業して30年経って、やっぱりお互いがお互いをリスペクトしてるんですよ。

【カレー子】 そう。やっぱり、それ、大事ですよ。

【まる子】 そう。やっぱり〇〇君はさすがだわとか、〇〇ちゃんは頭いいわとか。

【カレー子】 そうそう、リスペクト。

【まる子】 みんながみんなをリスペクトしている、すごくいい学年で。

【カレー子】 そう。みんながお互いにね。

【まる子】 そうそう。だから、お互いそこで大事にし合うっていうことが大事だと思います。

【カレー子】 大事ですよ、大事ですよ。あと、LGBTとかね。誰を好きになったっていいじゃないですか。

【まる子】 いいですよ。

【カレー子】 だって、男の人が「女の子になりたい」って言ったら、「すごいね、2つ生きられていいね」って、ほら、褒め言葉があるじゃない。

【まる子】 そうだよ。私、仲の良い友達が多いほうなんで、カミングアウトされることがあるんです。今年もされましたね。「まるちゃん、実は僕、女の子なんだよね」って言われて、「あ、よかったね、これから女子トークだね」って言えし、あと、もう一人は、お母さんにカミングアウトしたんだよね。「僕、本当は女の子になりたいんだよ」って言ったら、「うれしい。女の子欲しかったの」って言って、タイで手術しに行って帰ってきましたけれども、お母さんもすごくないですか。

【カレー子】 お母さんすごいですね。

【まる子】 うれしいって。

【カレー子】 それ、すごいですね。



【まる子】 「女の子欲しかった」って言って。

【カレー子】 ですから、男女共同参画はお互いをリスペクトしていくことが大事ですね。

【まる子】 そうです。もう本当に、本当に、お父さんがいつも洗濯して、茶碗洗って、アイロンがけをしていた家で育った私が、本当に何もしない夫と結婚して、男女共同参画の意義を身をもって感じられたのは、今の夫と結婚したおかげだなと思って、今、感謝しております。

【カレー子】 今、皮肉ありましたね。

【まる子】 何でもできちゃう夫と結婚したら、多分男女共同参画の意味がいまいちわからなかったかもしれない。

【カレー子】 そう。今日の舞台立てなかったね。

【まる子】 そうそう、そうそう。

【カレー子】 やっぱり悩まなきゃ立てないのよ、ここにね。

【まる子】 そう。リアルに男女共同参画の狭間の人なんで。

【カレー子】 そろそろ終わりに近づいてますので、じゃあ、最後、3人揃ったんで、謎かけでお別れしましょうか。

【まる子】 いいですね。謎かけしましょうかね。

【カレー子】 そうですね。皆様本当に、今日お集まりいただきましてありがとうございます。今日お集まりをいただきました皆様の人生、未来と掛けまして。

【まる子】 未来と掛けまして。はい、どうぞ。

【カレー子】 大谷翔平選手が。

【まる子】 大谷選手が。

【カレー子】 満塁ホームランを2本続けて打ったときと解きます。

【まる子】 満塁ホームラン、2回続けて打ったと解きます。その心は。

【カレー子】 4点、4点で8点（発展）は間違いないでしょう。

【まる子】 じゃあ、こがねいパレット、男女共同参画のこちらの会とかけまして。

【カレー子】 こちらの会とパレットとかけまして。

【まる子】 お気に入りの洋服と解きます。

【カレー子】 お気に入りの洋服と解きます。その心は。

【まる子】 一度着（来）たらまた着（来）たくなります。

【まる子・カレー子】 どうもありがとうございました。



質疑応答

【質問者1】 私もまる子さんと同じ年代で、夫も昔ながらの家庭で育った九州男児で、結婚10年目を迎えようとしてるんですけど。

【まる子】 じゃあ、似てますね。

【カレー子】 同じパターンじゃないですか。

【質問者1】 息子は小学3年生で、娘は1年生なんです。

【まる子】 じゃあ、同じですね。

【質問者1】 夫を教育をされた10年間でどんな工夫をされましたか。

【まる子】 まず、一番効いたのが、このままの状態だと結婚を継続できないってことをお伝えをさせていただいて、だって、本当にちょっと前まで靴下脱ぎっぱなし、ズボン脱ぎっぱなし、上着脱ぎっぱなし、シャツ脱ぎっぱなしって、それで、部屋に入っていくわけですよ。で、ヘンゼルとグレーテルみたいにパンをついばむように、靴下回収して、シャツ回収して、洗濯機に入れるっていうのを10年やってたんで、それを同窓会で言ったの。「うち、今、こういう状況なんだよね」って言ったら、「あ、うち、それで離婚したよ」って言われたんですよ。で、それを言ったんですよ。「『いつまでもヘンゼルとグレーテルやってると離婚するよ』」って言われて、友達が本当に離婚したよ」って言った翌日から、自分で洗濯機に入れるようになったとか、脅すっていうのもいいのかなと。

【カレー子】 でも、徐々によくなってるんです。

【まる子】 よくなった、一歩ずつ。これからどこまでいくのかなって見てる感じですかね。あと、こっちゃんが。「お父さん、洗い物したほうがいいよ」とか「お父さん、ゲームばかりしないで、ちゃんと家事やんなよ」とか言ってくれるんです。私が言うと角立つけど娘が言うのとやるみたいなのはありますね。

【質問者1】 ありがとうございます。



【質問者2】 衣装がすごく素敵ですが、どうされたんですか。

【まる子】 これは、tenbo (テンボ) さんっていうデザイナーさんに作っていただいたんです。実はこの衣装の中に、隠れライスがいるんです。隠れミッキーってあるでしょう。

【まる子】 そう。これが隠れライスで、顔をデザイン化していれているんです。

【カレー子】 もともと、これ全部、ドクロなんです。実はライスがね、これでスーツをオーダーして、着る予定だったのが、そのままオーダーしたまま亡くなっちゃったんですよ。まだ採寸する前に。なので、じゃあ、それを私たち着ようっていうんで直してもらったんですよ。

【まる子】 ライスが着たかったデザインの洋服ということですね。ちなみに、私は、このシリーズのこの形で、模様違いが10種類あります。

【カレー子】 次呼んでくれたら違う型が見られますよ。

【まる子】 10年かかって全部見られるかなって感じですかね。



こがねいパレットに賛同する団体（展示）のご紹介

（五十音順：一部除く）

保育サポーターグループ 「アンファン」

【代表者】 すぎい あきこ
【TEL】 042-313-9344
【E-mail】 akiko.sugii@gmail.com



保育士有資格者が運営する保育サービスのサポーターグループです。

「子育てを応援し、子供の成長を見守る“もうひとりの家族”」が活動のコンセプトです。

日々子育てに奮闘するお母さん方に、たまには息抜き、リフレッシュするひと時、心を整える時間を与え、またお子さんの成長の下支えが出来たらと願って活動しています。学校行事や保護者会、ママ友とお出掛けなどグループでの利用も可能です。おもに小金井市行政や公民館事業からの保育要請にお応えし、市内保育園や学童保育、ファミリーサポートなどでの経験を活かし、地元ならではの保育を目指しています。保育士はじめ幼稚園や小学校教員免許を持ったメンバーを中心に構成されています。アンテナオフィスは桜町いこいの家で開催されるサロン「みんなの家」になります。開催は原則毎週木曜日ですので、一度遊びにいらしてみませんか。ぜひ『アンファン』へのご相談をお待ちしております。

聞いてきいての会

【代表者】 土岐 由美子
【TEL】 042-301-8186
【FAX】 042-384-5228
【E-mail】 tkymkobk@yahoo.co.jp



心に届く朗読を目指して立ち上げた「聞いてきいての会」も11年目。

月に2回の活動日のうち、第1土曜日は元NHKアナウンサー風見雅章先生のユーモアある熱いご指導をいただき、第3土曜日の自主学習会は会員同士で発声練習や“私の扉”の発表です。

2020年2月15日土曜2時半から小金井宮地楽器ホールで第7回朗読発表会を開催しました。

風見雅章先生を講師に迎える公開講座「コミュニケーションを高める朗読」は、来年度開催を楽しみにしています。

コミュニケーションと朗読の楽しさを基礎から一緒に学びませんか。

小金井子育て・子育て支援 ネットワーク協議会

【代表者】 水津 由紀

【TEL】 080-4836-2865 (石井)

【E-mail】 koganei.k.k.netwk@gmail.com

【企画・運営しているサイト】 <https://nobinovino.net/>

【フェイスブック】 <https://www.facebook.com/nobinovino/>



子育て支援や子どもに関わる活動をしているサークルや市民団体、NPO等がゆるやかにつながり、行政と連携して「地域で子どもを育てよう」と活動しています。(2011年8月設立)

加入団体76団体(2019年10月現在)

小金井子育て・子育て支援サイト「のびのびーの！」の運営をはじめ、妊娠期から子育て中の保護者のための講座や交流会、「子育てメッセこがねい」の開催、キッズカーニバルKOGANEIへの参加、市長への提言などを行っています。

この度、2019年11月21日付で、内閣府 子供と家族・若者応援団体活動事例紹介事業【子育て・家族支援部門】「チャイルドユースサポート章」を受章しました。

団体・個人加入も、募集中です。一緒にいかがですか。

NPO 法人こがねい子ども遊パーク

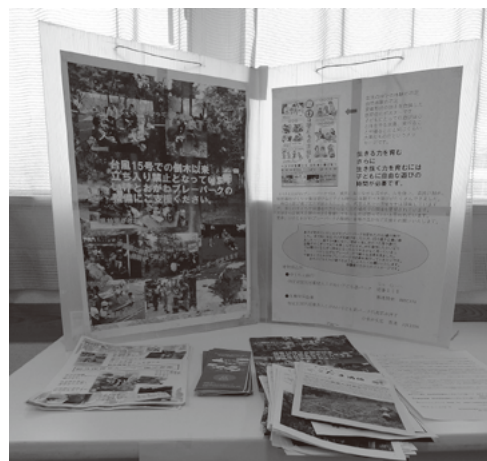
【代表者】 邦永 洋子

【TEL】 042-201-5453

【FAX】 042-201-5453

【E-mail】 playpark@koganei-yu.net

【ホームページ】 <http://www.koganei-yu.net/>



子ども達には遊びの時間、仲間、場所が必要です。

子どもの自主性を育み、自然の中で自由な遊びをさせたいと冒険遊び場(プレパーク)を運営しています。

直接的に五感に訴えるような体験の場所を作りたいと、泥んこ、虫取り、木登り、秘密基地、野外調理など子どもがやってみいたいことを実現できるように場づくりをしています。

また、子どもの町づくり、職業体験のイベント「こどものまち・ミニこがねい」も実施しています。子どもの企画で成りたつこの遊びのではまちでは、子どもの力を信じて大人と子ども共に育つパートナーとしての大人の役割を感じます。そのほか農作業や手仕事などの自然体験事業を通じて子どもに文化の継承をしていきたいと考えています。

小金井市子ども家庭支援センター ゆりかご

【代表者】 松藤 早由美
【TEL】 042-321-3141
【FAX】 042-321-3190
【E-mail】 mail@k-yurikago.org
【ホームページ】 <http://k-yurikago.org/>



小金井市子ども家庭支援センターゆりかごは、0歳～就学前のお子さんとお母さん、お父さんがおもちゃや絵本で自由に遊んだり、おしゃべりできるひろばです。

地域のボランティアさんも大勢来て、手遊びやパネルシアター・コンサート・ひろばでお子さんたちと遊んでくださっています。

ゆりかごスタッフも仲間に加えていただき、子育てのことを一緒に喜んだり、時には悩んだり、考えたりしたいと思っています。皆さんが安心して自分らしくいられる空間にしていきたいと考えていますので、どうぞお気軽にお立ち寄り下さい。

勿論、お孫さんを連れておじいちゃん、おばあちゃん、これからお父さんお母さんになられるプレパパ、プレママも大歓迎です。スタッフ一同、お待ちしております。

公益社団法人 小金井市シルバー人材センター

【TEL】 042-383-6141
【FAX】 042-385-6241
【E-mail】 silver@koganei-sc.or.jp
【ホームページ】 <http://www.koganei-sc.or.jp>



小金井市シルバー人材センターは、「高年齢者等の雇用の安定等に関する法律」に基づき、国、東京都、小金井市からの支援を受けて運営されている「公益社団法人」です。

社会参加の意欲ある健康な60歳以上の高齢者が会員となり、地域社会と連携を保ちながら、希望、知識及び経験に応じた就業並びにボランティア活動等の社会貢献活動を通じて、健康で生きがいのある生活の実現と、地域社会の福祉の向上と活性化に貢献しています。

当センターの会員数は、約1,200人。事業実績は年間4億5千万円近くになり、市内の企業・市民の皆さんに役に立つべく、様々な分野の仕事を通じて生き甲斐を得ながら地域社会に貢献し、市民の皆さんから信頼をいただいています。

お仕事を依頼したい方、お仕事をやってみたい方は、お気軽にご相談ください。

こがねい女性ネットワーク

- 【代表者】 安藤 能子
 【TEL】 042-385-3937
 【FAX】 042-385-3937
 【E-mail】 08012839480@docomo.ne.jp
 【ブログ】 <http://koganeijoseinet.doorblog.jp/>



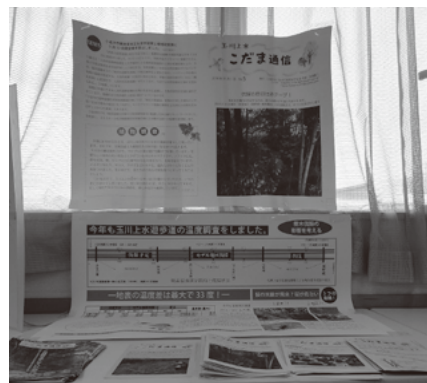
1996年小金井市の「男女平等都市宣言」と期を同じく発足し、女性の視点から、より良い市民生活をめざして活動しているグループです。

主な活動は

- ①機関紙「こがねい女性ネットワークニュース」の発行 - 各公民館・市役所広報秘書課前に置いてあります。
- ②小金井市男女平等推進審議会や「こがねいパレット」等市の男女共同参画事業への参加
- ③小金井市男女共同参画室との懇談会の開催
- ④学習会、講演会等の開催
- ⑤『聞き書き集 小金井の女性たちー時代をつなぐ』『聞き書き集 小金井の女性たちー時代を歩む』（図書館本館2階所蔵）をもとに作られたフォトムービー「写真でたどる小金井の女性たち」の紹介上映活動

小金井玉川上水の自然を守る会

- 【代表者】 加藤 嘉六
 【FAX】 042-326-3132（田頭）
 【E-mail】 kodama2107kodama@yahoo.co.com
 【ホームページ】 <https://kodama201803.jimdo.com>



玉川上水名勝小金井（桜）復活事業により、ヤマザクラの補植と、桜の生育を阻害する樹木の伐採が行われています。2014年関野橋～梶野橋区間では、ケヤキなどが「雑木」として皆伐されました。

この皆伐後は周辺住民中心に、排ガスや騒音が増え、鳥や小さな生き物たちが減ってきた、など環境の悪化を指摘する声が挙がりました。そこで小金井玉川上水の自然を守る会では小金井桜だけでなく、他の樹木や生き物も大切にしたいと願い、活動が始まりました。

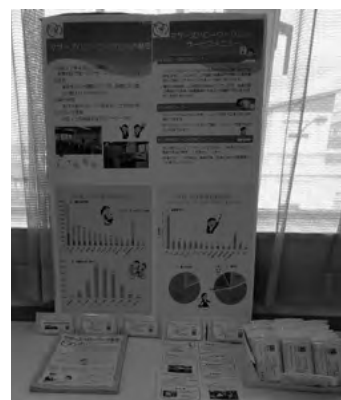
玉川上水では、驚くほど多様な動植物の生態が観察できます。ここの緑は小金井に残る数少ない自然林です。全長43kmに及ぶ、多摩と都心を結ぶ連続したグリーンベルトの一部であり、鳥や動物たちの通り道でもあります。伐採が及ぼす影響を知るために、専門家の方々と共に植物観察や、地表の温度測定も行っています。

マザーズハローワーク立川

【TEL】 042-529-7465 (山本・菊池)

【FAX】 042-524-1088

【ホームページ】 https://jstite.mhlw.go.jp/tokyo-hellowork/kyushokusha/kyujin_kensaku/mothers_tachikawa.html



マザーズハローワーク立川は、

多摩地区で唯一の仕事と育児・家事の両立を目指す方を支援する専門のハローワークです。

- お子様連れの方も利用しやすい明るく広いスペース
- 託児サービス付き就職活動支援する各種セミナー・パソコン講習を開催
- 毎回同じ担当者による予約相談も可能
- 授乳室、おむつ交換用ベッドや安全監視員常駐のキッズコーナーあり

ご希望の就職条件を伺い、お仕事探しの相談・アドバイスや仕事と家庭を両立しやすい求人をご紹介します。是非、お気軽にお立ち寄りください。

《所在地》立川市曙町2-7-16 鈴春ビル5階 立川駅北口徒歩2分

※公共交通機関をご利用ください。駐車場・駐輪場はございません。

《ご利用時間》平日9:00~17:00 土・日曜日、祝日、年末年始はお休みです。

子育て支援&多世代交流サロン 「みんなの家」

【代表者】 すぎい あきこ

【TEL】 042-313-9344

【FAX】 042-313-9344

【E-mail】 koganei.minna.no.ie@gmail.com



子育て支援と多世代交流を活動目的としてサロン運営しています。

コンセプトは“遠くの親戚より近くの他人”、キャッチフレーズは“大家族になろうよ”です。

多世代で子育てを応援し、お互いに「ここも居場所」と思えるサロンを目指しています。

おもに桜町の「いこいの家」で週1回、四季を味わう食イベントを開催しています。

季節感を楽しむ紙芝居や読み聞かせや手遊び歌、パネルシアターやペープサートなど、いつもと違うひと時を演出しています。夏はところてん突き、秋はハロウィンイベントでモンブランづくり、また市内で活躍されている高齢者による落語会やマジックショーも開催し、親子ともに楽しめる企画です。今後は参加者の希望に応えた内容やお子さんの成長を祝うようなイベントも開催して行きたいと考えています。

ぜひ、一度遊びにいらしてください。日程の詳細はサイト「のびのびーの！」などでご確認下さい。

NPO 法人 木馬の会 小金井おもちゃライブラリー

【代表者】 太田 一貴
【TEL】 042-384-4231（坂口）
【FAX】 042-384-4231
【E-mail】 otoiawase@npo-mokuba.org
【ホームページURL】 <http://npo-mokuba.org>



「NPO法人木馬の会」は障害をもつ人々の自立を支援し地域で共に暮らすために幅広く活動を行っています。

＜小金井おもちゃライブラリー&こども相談室＞では、発達やコミュニケーションに心配、障害のある方にむけた、個別の相談・療育指導、音楽や余暇の活動、コミュニケーション指導のグループ、＜小金井おもちゃライブラリー学童クラブ＞では、特別な支援が必要なお子さんへの放課後等デイサービス事業、＜ライブワークス＞では、障害をもつ方の働く場、就労継続支援B型の活動を行っています。

地域の方々や育児サークル等へおもちゃの貸し出しや、遊び場として＜おもちゃ図書館＞も開催しています。武蔵野公園や野川に近い自然の豊かな場所です。ぜひお問い合わせ、お立ち寄りください。

NPO法人 らくビット

【代表者】 大橋 元明
【TEL】 042-407-2440
【E-mail】 ask@racoubit.org
【ホームページ】 <https://racoubit.org/>



NPO法人らくビットは、格安の名刺サイズ・多機能パソコン・Raspberry Pi（ラズパイ）を使ったプログラミング教育事業およびオープンソースソフトの活用事業を展開しています。30代～80代の老若男女が集い、楽しく学び・教えあう多世代交流の場となっています。

来年度から小学校で必修化されるプログラミング教育には地域の支援が不可欠です。それに備え、らくビットでは世界中で最も普及しているビジュアル・プログラミング言語Scratch（スクラッチ）の大人向けのプログラミング学習会、電子工作学習会およびロボット学習会、さらに小学生向けのプログラミング教室を毎週開催しています。また、夏休みには小学生向けの工作教室を開催しています。

これらに参加している高齢者はますます元気になり、プログラミングは認知症予防・健康維持に役立っているようです。笑顔も増えています。スクラッチを使うプログラミングは簡単です。プログラミングは初めての方大歓迎！ 一緒に楽しみませんか。

企画政策課男女共同参画室

【TEL】 042-387-9853

【FAX】 042-387-1224

【E-mail】 s010303@koganei-shi.jp

【ホームページ】 <http://www.city.koganei.lg.jp/kakuka/index.html>



小金井市企画政策課男女共同参画室では、①男女平等意識の育成のため、②男女平等社会の実現をめざし行動計画を総合的かつ計画的に推進するため、以下のような事業を行っています。

《男女平等意識の育成》

- 1 こがねいパレットの開催
- 2 男女共同参画情報誌「かたらい」の発行
- 3 男女共同参画シンポジウムの開催
- 4 女性総合相談事業の実施
- 5 再就職支援講座の開催
- 6 男女平等都市宣言普及啓発冊子の発行 など

《行動計画の推進》

- 1 男女平等推進審議会の開催
- 2 苦情処理窓口及び男女平等苦情処理委員の設置
- 3 緊急一時保護施設運営費補助金の交付 など

第33回こがねいパレット アンケート結果

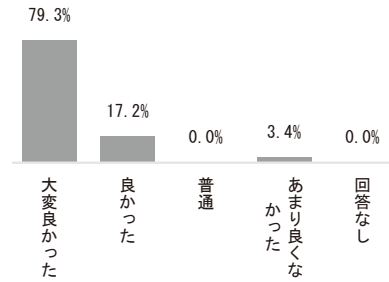
参加者数：38名（女性25名、男性13名）

回答者数：29名 回収率：76.3%

1 企画の感想

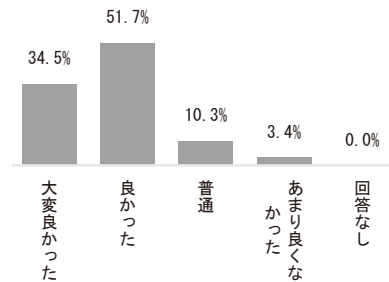
漫才について

大変良かった	23	79.3%
良かった	5	17.2%
普通	0	0.0%
あまり良くなかった	1	3.4%
回答なし	0	0.0%
合計	29	



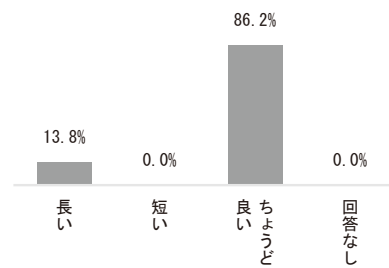
団体展示について

大変良かった	10	34.5%
良かった	15	51.7%
普通	3	10.3%
あまり良くなかった	1	3.4%
回答なし	0	0.0%
合計	29	



時間について

長い	4	13.8%
短い	0	0.0%
ちょうど良い	25	86.2%
回答なし	0	0.0%
合計	29	



◆漫才については、「大変良かった」または「良かった」が96.5%であった。

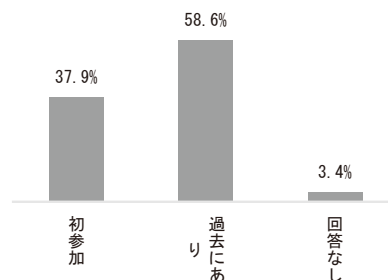
団体展示については、「大変良かった」または「良かった」が86.2%であった。

時間については、「ちょうど良い」が86.2%で、適正な時間と考えられる。

2 こがねいパレットについて

こがねいパレットの参加回数

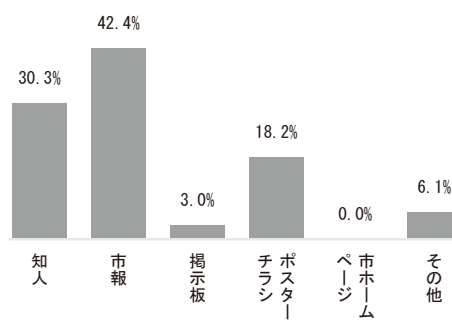
初参加	11	37.9%
過去にあり	17	58.6%
回答なし	1	3.4%
合計	29	



- ◆「過去に参加したことがある」の内訳は、2回目が6名、3回目と5回目が4名ずつ、その他3名であった。今回のこがねいパレットでは、初めて参加したとの回答が37.9%であり、今までに、こがねいパレットに参加していない市民に対して、市の男女共同参画施策を啓発することができた。

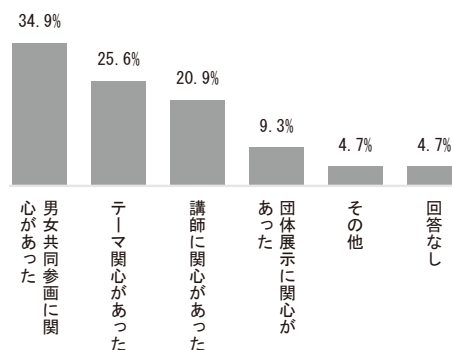
知ったきっかけ（複数回答可）

知人	10	30.3%
市報	14	42.4%
掲示板	1	3.0%
ポスター・チラシ	6	18.2%
市ホームページ	0	0.0%
その他	2	6.1%
合計	33	



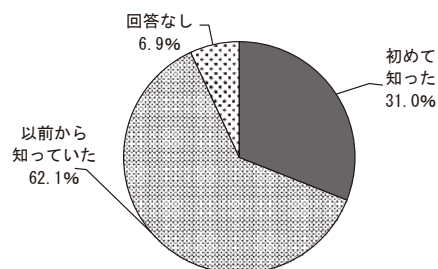
参加したきっかけ（複数回答可）

男女共同参画に関心があった	15	34.9%
テーマ関心があった	11	25.6%
講師に関心があった	9	20.9%
団体展示に関心があった	4	9.3%
その他	2	4.7%
回答なし	2	4.7%
合計	43	



こがねいパレットは、男女平等・男女共同参画の意識を地域で育てていく行事であると知っていたか

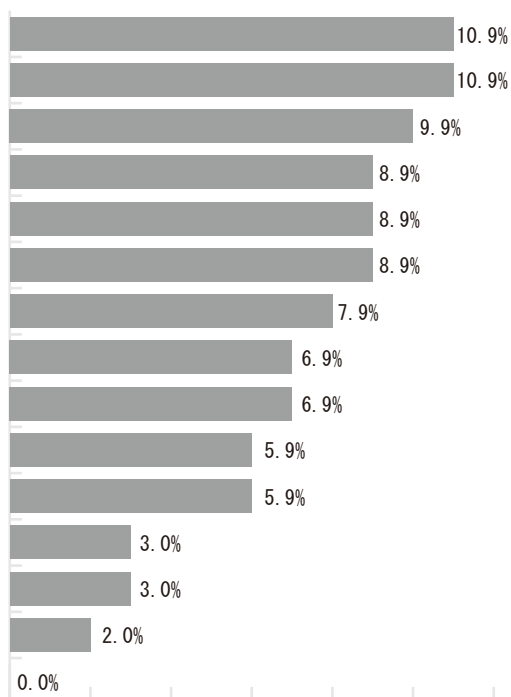
初めて知った	9	31.0%
以前から知っていた	18	62.1%
回答なし	2	6.9%
合計	29	



◆「初めて知った」との回答の割合が31.0%であり、男女平等意識啓発の一助となった。

男女共同参画で興味あるテーマ（複数回答可）

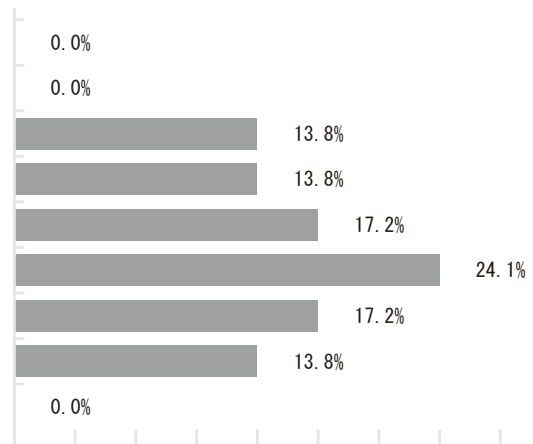
生き方	11	10.9%
暮らし	11	10.9%
防災	10	9.9%
多様性の尊重	9	8.9%
ワークライフバランス	9	8.9%
健康	9	8.9%
教育	8	7.9%
人権（DV防止等）	7	6.9%
子育て	7	6.9%
働き方	6	5.9%
介護	6	5.9%
ジェンダー	3	3.0%
地域活動	3	3.0%
その他	2	2.0%
回答なし	0	0.0%
合計	101	



3 参加者について

年齢

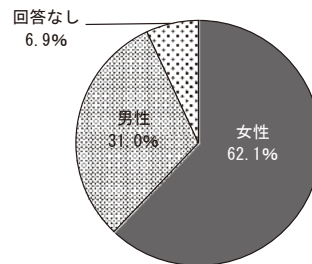
～10代	0	0.0%
20代	0	0.0%
30代	4	13.8%
40代	4	13.8%
50代	5	17.2%
60代	7	24.1%
70代	5	17.2%
80代～	4	13.8%
回答なし	0	0.0%
合計	29	



◆60代の参加者が最も多かった。一方で、20代以下の参加者はいなかった。

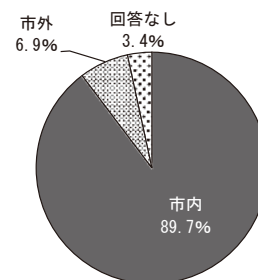
性別

女性	18	62.1%
男性	9	31.0%
そのほか	0	0.0%
回答なし	2	6.9%
合計	29	



居住地

市内	26	89.7%
市外	2	6.9%
回答なし	1	3.4%
合計	29	



◆市外からの参加者は、近隣市から2人であった。

4 ご意見（自由記入）

- ・ とても楽しい時間を過ごすことができました。
- ・ とても面白く、大笑いしましたが、笑いの中に考えさせられる部分もありました。
当たり前のことをバカにしないで、ちゃんとやる。
カレー子さんのライスさんの話、面白かったです。
こっちゃんもかわいいです。歌も良かったです。
- ・ 笑うことはとても大切なことです。
会場が笑いであたたかくなりました。
- ・ とても楽しい親子漫才でたくさん笑わせていただきました。
カレー子さんは私の母親と同じくらいの年齢なのですが、とても元気で、面白くて、素敵なお母さんだと思いました。
こんなお母さんだったらいいなあと思いました。
まる子さんがうらやましいです！
こっちゃんもとても可愛いですね。
- ・ 笑いながら男女平等を知って考えるためには、よい企画でした。
- ・ おもしろかったです。
3世代というのも良いですね。
笑って元気になりました。
- ・ 毎日の生活の中の笑いでした。とっても良かったです。
- ・ すごく面白くて、来て良かったです。
参加者が少なくて「もったいない！」
PRが足りなかったかな・・・
色画用紙の「緑・オレンジ・黒」の演出も良かったです。
- ・ 友人に誘われて来ましたが、漫才の楽しさを改めて知った。
- ・ 日常の生き方を笑いながら勉強（参考）になった。
- ・ 環境問題や男女共同参画に関して笑いを交えながらとても楽しくお話しされていて、わかりやすく楽しい時間でした。
3世代でされていたのもとても良かったです！

- ・まる子さん、カレー子さんを初めて知りました。
防災、もったいないの歌をもっと広めて、子どもも大人も知ってるよというくらいになった
らいいですね！
とても良かったです！
- ・会場の配置とか良かったと思いました。
- ・ステージが漫才っぽくてすごく良いと思いました。
日頃のモヤモヤを笑いで吹き飛ばすというのがいい考えだなと思います。
途中からでしたが参加して良かったです。
- ・男性視点での話がほしかった。
- ・大満足の講演でした。
カレー子さん、まる子さん、こっちゃん、ぜひまた小金井に来てください。
身近な話題がとても良かったです。

さまざまなご意見をいただきましてありがとうございました

実行委員の感想、実行委員会の開催記録

実行委員長 川原 美紀

こがねいパレットに参加し5年目、実行委員長も2度目の今年に、親子3世代漫才の林家まる子&カレー子&こっちゃんをお呼び出来て嬉しかったです。

「笑い」は心身共に健康にも良く、笑いの中に、男女共同参画、世代間ギャップ、環境のお話もしっかりと入っていて楽しく時間が経つのがあっという間でした。

市民が企画、立案、実行まで行える機会はとても学びになり貴重な出会いの場にもなり、こういう市民が参加出来る制度はこれからも続けていって欲しいし、パレットの他にももっと増えていけば良いかと願っています。今年も一緒に活動していただいた、職員、委員の皆様どうもありがとうございました。

副実行委員長 須賀 佳苗

今回、初めてパレットの実行委員を務めました。

前年のパレットの講演会には聴衆の一人として参加していたのですが、その際に思ったのは「パレットは誰にでも開かれている雰囲気、誰にとっても大事なテーマを扱う講演会だな」ということです。今年のパレットも、皆に開かれた場・皆にとって大事なテーマを考える場となったのではないかと自負しています。

講演会当日の準備は、お祭り気分でした！実行委員の醍醐味だと思います。お世話になった皆様、ありがとうございました。

副実行委員長 杉井 亜紀子

第33回こがねいパレット実行委員は男性1人に女性多数で、今年も活躍する女性たち、日本初の3世代母娘漫才一家をお招きして、大笑いの講演会でした。

亡くなったライスさんのスーツをリメイクした衣装をはじめ、前向きで機知に富んだ掛け合いの数々は、楽しく生きる上での参考になる事ばかりでした。

振付きで歌った防災ソングや環境ソング、9歳のこっちゃんがとてもかわいかった～

COP25で世界は地球規模の変化へと舵を切ろうとしています、次のTIMEの表紙の最年少は環境活動家こっちゃんかも？！

地球も 林家一家も パレットも 私も、Ever Green!

実行委員 齋藤 瞳

パレットやPTAの経験を通し色々な面白い方々に囲まれ、生き方や考え方、人生に大切なものはなにか、今一度見つめ考えることができました。

大切なのは幸せになることだと思います。心から笑っていますか？ 人生を楽しんでいますか？
今の私は即YESと言えます。

パレットに参画することで、自分が主体的になること、皆と一緒に何かを作っていくことの楽しさを体感するきっかけになると確信しています。どんな時も温かいサポートをくださる事務局さんに心からの敬意と感謝を。

世界を少しだけ「より良く」変えることができれば、きっと、もっと人生が楽しくなります。
NoパレットNo Life.
パレットがいつまでも誰かの心のふるさとでありますように。

実行委員 芝山 未佳

毎回の会議と当日のイベントを含めて、1回しか出席出来ませんでした。ポスター制作を担当させて貰い、微力ながら、参加できた部分もあったのかなあ？と、いう状況でした。メンバー全員で当日を作り上げる楽しさをもっと感じられたら良かったです。こんな状況でも、参加させていただける環境に感謝です。

実行委員 園田 理恵

鮮やかな黄色を背景にラフなデッサン風の暖かな筆致の似顔絵、しゃれたキャッチコピー。

10月の中頃、街角の掲示板でこがねいパレットのポスターを見た。

パレットのメンバーと数ヵ月かかって手掛けたポスターだ。

写メールに送られて来たのを目にしたが、実物を見たのは初めてだった。

メンバーと共に自由活発な意見を出し合いながら作り上げた過程がよみがえる。

残念ながら当日会には参加できなかったが、準備の一端を担うことができて良かった。

色々教えられ、有意義なひとときだった。

実行委員 前沢 しき子

今回のこがねいパレットの実行委員が初めての参加でしたが、何度か実行委員を経験されている方が、経験者の立場からサポートしてくださり、各々が縛りなく考えをオープンにできたと思います。

こがねいパレット実行委員は老若男女問わず市民が参加できる仕組みになっていて、その時その時で、学びたい、やりたいと感じる事を議論できるので、好ましく今後もこの仕組みを残して欲しいと思います。

実行委員 矢部 響子

老若男女問わずの実行委員が集まり、どのような講演会がいいのか、毎回みんなで意見を出し合い、今の時代に合った多方面からのニーズの確認が出来て、企画会議から大変勉強になりました。会議には保育が必ず付いていて、子連れママも参加出来る会議で、まさに男女共同参画であり、子育て中のママにも社会で活躍できる機会を与えていただき、大変嬉しかったです。

事務局の方にも多岐にわたりフォローいただき、安心して私自身が楽しめました☆

今後も地域で生涯学習&多世代交流の場としての、こがねいパレットに期待しています。有難うございました☆

実行委員 山本 紘衣

漫才は初めてだったけど、みんな笑ってずっと集中して聞き入っていました。

私たちも始終笑っぱなしで楽しかった。

実はさりげなく話しているように見えて完璧に仕上げられた話でした。

それを感じさせない技術が素晴らかったです。

わたしも講座の講師でyoutubeに動画もアップしていますが、「惹きつけるセオリー」があります。

それは、30、3、15、45、90です。

最初の30秒でインパクト与えて惹きつけます。そして3分一つネタで自分ワールドへ惹きつけます。15分で切り替えて歌を歌ってました。5分でまた別のこと入れておさめる。

今回の漫才はもう完璧な流れでした。

実行委員 吉田 孝

地球環境問題や暮らし、子育てなど辛さを少しでも和らげ、明日に向け笑顔を贈りたく企画した“作品”、それが「It's 笑 タイム!! 笑いで吹き飛ばせ 暮らしのモヤモヤ」でした。

本企画は、これまでのパレットの企画テーマとやや“異色”ではありました。けれど、開催中参加者一人一人が三人の洒落な話に笑顔満面で耳を傾けている姿に、企画者として「成功した!」と感慨深いものでした。

2時間余りの“贈り物”でしたが、参加された皆さんそれぞれが、林家まる子&カレー子さんの軽妙なる語り口とチャーミングなこっちゃんの笑みをポケットに入れ家路に向かわれたなら、企画した一人として嬉しく思う次第です。

<実行委員会の開催記録>

第1回	令和元年5月15日
第2回	令和元年5月27日
第3回	令和元年6月14日
第4回	令和元年6月24日
第5回	令和元年7月9日
第6回	令和元年10月29日
第7回	令和元年11月24日
第8回	令和2年1月29日



講師と第33回こがねいパレット実行委員

「こがねいパレット」開催の足跡

「こがねい女性フォーラム」(第1回～第14回) から 「こがねいパレット」(第15回～) へ

回・開催日	テーマ・内容
第1回 1987年 12月5日(土)	女性と福祉 シンポジウム コンサート／はしだのりひこ 展示／婦人団体・グループ作品、老人等の介護器具 こども分科会
第2回 1988年 11月12日(土) 13日(日)	女と男でつくる地域のネットワーク 分科会／「老後の問題」「子育ての問題」「働く女性の問題」「こども分科会」 講演／斉藤茂男「これからの家庭と女性の生き方」 コンサートの横井久美子 展示／婦人団体・グループ作品、老人介護器具・用品
第3回 1989年 パートⅠ 7月8日(土) パートⅡ 9月16日(土) パートⅢ 11月26日(日)	こんな生き方してみたい 映画／「TOMORROW 明日」 コンサートの読売交響楽団 絵画展／淀井彩子 写真展／渡辺幸子 講演／ヤンソン・由美子「女にも男にも住みよい社会とは」 分科会／「高齢者」「子育て」「働く女性」 展示／婦人団体・グループ、老人等の介護器具・用品
第4回 1990年 パートⅠ 4月21日(土) パートⅡ 9月8日(土) 9月9日(日)	愛を生きる 女性議員に聴く／「議員として今、感じていること」 映画／「黒い雨」 小金井市婦人行動計画推進状況報告会 交流会 分科会／「家族」「地域」「自然」 シンポジウム／吉武輝子「愛を生きる」 展示／婦人団体・グループ、応募作品「愛を生きる」、老人等の介護器具用品
第5回 1991年 パートⅠ 4月13日(土) パートⅡ 11月17日(日)	仕事も家庭も楽しみたい 講演／来栖琴子 コンサートの読売交響楽団 講演／宝井琴桜「残ったのこった夢話」 シンポジウム／中島通子 分科会／「出生率1.21%」「女性の就業率56.9%」「高齢化率10.5%」 展示／等身大女性の人体模型
第6回 1992年 パートⅠ 4月25日(土) パートⅡ 11月1日(日)	わたして地球人—もっと知りたい世界のくらし— コンサートの日本のうたと民族音楽 エスニック・ティーパーティー 映画／「サンダカン八番娼館 望郷」 シンポジウム／福島瑞穂「アジアの女性と人権」
第7回 1993年 パートⅠ 4月25日(日) パートⅡ 10月1日(金)～3日(日) 10月3日(日) 10月9日(土)～17日(日) 10月16日(土)	男と女でつくる地域のネットワーク 福祉バラエイトーク／高瀬 毅 ペーパーサート／「2001年 小金井さん一家の憂うつ」 分科会／「老いを支える手が女性専科にならないために」「住宅から見る住宅ケア」 「性の話をしてみませんか」 多摩をひらこう、女性の力で(中央線沿線8市合同女性フォーラム統一テーマ) 作品展／絵画、写真 トーク／南伸坊「女性と芸術」 交流会 美術展／「多摩・女性美術—いのち・色・かたち—」 美術講話／田中田鶴子「画家から見たヨーロッパ文化の源流」
第8回 1994年 パートⅠ 11月6日(日) パートⅡ 1月28日(土)	家族ってなあに? 女性にとっての先進国ってなあに? コント／「家族アラカルト」—で、あなたの場合は?— トーク／沖藤典子「女性の老後と家族」 深江 誠子「ひとりでも家族・いろんな家族」 講演／北沢洋子「アジアの女性と日本」 報告／女性海外派遣事業 パネルディスカッション
第9回 1995年 11月12日(日)	女が変わり、男が変わる—それぞれのライフステージから— コント／ステージⅠ宮迫 千鶴「つくられる『女の子らしく』『男の子なのに』」 ステージⅡ青山 南「共に育つとき」 ステージⅢ吉武 輝子「魅力のあるシニア世代へ」

回・開催日	テーマ・内容
第10回 1996年 11月10日(日)	男女平等宣言！？ 1部「サークル・団体等の発表・展示」「ミニコンサート」「男女平等都市宣言(案)の発表」 2部 分科会／Ⅰ.吉田 英子「みえていますか？教室の中」 Ⅱ.中島 通子「結婚が変わり、離婚も変わるそして、相続も…」 Ⅲ.吉田 清彦「CMウォッチングメディアに見る女と男」
第11回 1997年 11月9日(日)	男女平等都市宣言—絵にかいたモチにさせるな— 講演／吉永みち子「自己実現時代の女・男」 女性議員に聞く みんなでトーク&トーク
第12回 1998年 11月8日(日)	わたしのまちで第一歩 講演／残間里江子「わたしのまちで第一歩」 分科会／「男の分科会—あなたの居場所は??—」 「アッ!とおどろく年金のしくみ」「不平等とは感じませんか」
第13回 1999年 11月7日(日)	ジェンダー落語がやってくる—とにかく笑って大発見— 落語／桂 文也 ジェンダートーク／桂 文也 ジェンダー川柳・ジェンダーこぼなしの発表 展示／地域グループ
第14回 2000年 12月3日(日)	ドラキュラとラパンがくる日—子どもといっしょにジェンダーさがし— 人形劇／あとりえ MOON 絵本の読みきかせ／はちのヘウイメンズアクション
第15回 2001年 12月2日(日)	家族の悩み解決講座—支えあって生きる— 講座／鹿島 敬 展示／地域グループ
第16回 2002年 11月16日(土)	知っていますか？ 男の子のキ・モ・チ 気づいていますか？つくられた「男らしさ」 男はつらいよ体験談 プレイバックシアター／北村 年子 JICAPTグループ 報告／初デートアンケート 展示／地域グループ
第17回 2003年 12月7日(日)	婚なコン あんな婚 インタビュー／婚・こん・コン・KON グループトーク／いろいろ婚 展示／地域グループ
第18回 2005年 1月16日(日)	あなたが裁判員になる日 ～ドメスティック・バイオレンス殺人未遂事件～公会堂が一日法廷に変身… 「裁判員制度」って知っていますか？「裁判員」ってどんな役目？ 模擬裁判劇→評議(裁判員役市民6名)→判決(参加者全員)で体験。
第19回 2005年 12月4日(日)	パレットパーク ～いろいろな人が いろんな色のまま～ 大人も子どもも一緒に楽しく遊びながら男女共同参画について考えてもらおうと、市内の様々な団体に協力してもらい、初の来場者体験型のパレットを企画 映画「ベアテの贈り物」上映、絵本のよみきかせ、工作コーナー、点訳体験、パフォーマンス、スタンプラリー(男女共同参画に関する問題を出題) 展示／絵手紙、市内協力団体
第20回 2006年 11月19日(日)	ウチの愚妻が… どう感じますか？ このコトバ ・緊急討論!「言葉にかくれたジェンダー」 ・落語&トーク「女流真打 古今亭菊千代のみる落語の世界の男と女」 ・手に食を「男だらけの料理教室」 ・カントリーコンサート ・市内協力団体の展示 ・チャリティーバザー ・点字体験等
第21回 2007年 11月4日(日)	ひとり ひとりが 大切 女性と障害のある方の自立、人権について取り組み ・実行委員会からのメッセージ ・映画「筆子・その愛—天使のピアノ—」上映 ・バザー ・展示／滝乃川学園資料パネル ・市民活動団体による展示と説明
第22回 2008年 12月13日(土)	団塊の世代 いざ地域デビュー! ～セカンドステージはどんな色?～ 講演／林 望 「団体世代への応援歌」 トーク／川合 彰、長森 眞、林 望 「トーク The セカンドステージ」 ～市内で活動する方の「My 地域デビュー」を聞く～ リレーアピール／地域デビューサポーターズ 展示&交流／地域デビューサポーターズ、こがねいパレットに賛同する団体

回・開催日	テーマ・内容
第23回 2009年 11月15日(日)	伝えよう 受けとめよう 心のことば 講演/山根 基世 「もう一度考えたい ことばの力」 即興劇(プレイバックシアター)/出演「にじのわ」 ～あなたのことばを形にする あなたの思いを再現する みんなと創る即興劇～ 展示/こがねいパレットに賛同する団体
第24回 2010年 12月5日(日)	パパの子育て よーいドン! ～家族もパパもハッピーに～ 講演/小崎 恭弘 「みんなで子育てを楽しめる社会をめざして」 しゃべり場/アドバイザー 小崎 恭弘 パネリスト 子育て中のパパ、ママ、孫育て中のおじいちゃん 展示/こがねいパレットに賛同する団体
第25回 2011年 11月26日(土)	夫婦を楽しむ イマドキの結婚&夫婦実態報告 小金井のご夫婦いらっしゃ〜い! パートナーはどこまで知ってる? ゲーム トークセッション「夫婦を楽しむためのアレコレ」 展示/こがねいパレットに賛同する団体
第26回 2012年 11月18日(日)	ステキな女性・ステキな男性 ～気持ちも体も美しく、オシャレに生きる～ 講演/1部 池上 陽子 「亭主改造計画」 2部 山田接骨院スタッフ 「しなやかな ^{カラダ} 身体にリフレッシュ!」 展示/こがねいパレットに賛同する団体
第27回 2013年 11月10日(日)	ビューティフルママの時間割 ～子育てと仕事をおいしくMix～ 講演/「こどもはみんなアーティスト! 育児をしながら夢をつくる～映像作家の日常と奮闘」 ワークショップ/「ハンドタオルで動物園をつくろう!」 ※講師 若見 ありさ(講演・ワークショップ) 展示/こがねいパレットに賛同する団体
第28回 2014年 11月16日(日)	ゆる家事って、なあに? ～今の暮らしに魔法をかけよう～ 講演1部/「暮らしを変えよう!ゆる家事レッスン」 講演2部/「野菜を食べよう!ゆるベジ料理」 ※講師 浅倉 ユキ 展示/こがねいパレットに賛同する団体
第29回 2015年 11月8日(日)	ストレスに対処するしなやかなココロの作り方 講演前半/「ストレスに対処するしなやかなココロの作り方 講義」 講演後半/「ストレスに対処するしなやかなココロの作り方 実践」 ※講師 石井 朝子 展示/こがねいパレットに賛同する団体
第30回 2016年 11月12日(土)	幸せを呼ぶ10秒そうじ ～掃除をしたくなるお話を聞きにきませんか?～ 講演/幸せを呼ぶ10秒そうじ ～掃除をしたくなるお話を聞きにきませんか?～ ワーク/ブロックワーク等 ※講師 白坂 裕子 展示/こがねいパレットに賛同する団体
第31回 2017年 11月23日(木・祝)	地球を歩いて感じた家族のカタチ グレートジャーニー探検家が考えるいきいきとした暮らしとは? ※講師 関野 吉晴 展示/こがねいパレットに賛同する団体
第32回 2018年 11月11日(日)	フィンランド流 自分らしく生きるヒント ～暮らし方、働き方、子育て～ 前半/講演 フィンランド流 自分らしく生きるヒント ～暮らし方、働き方、子育て～ 後半/質疑応答(質問カードとホワイトボードを使った参加型) ※講師 坂根 シルック 展示/こがねいパレットに賛同する団体
第33回 2019年 11月24日(日)	It's 笑 タイム!! 笑いで吹き飛ばせ 暮らしのモヤモヤ 漫才 林家まる子、林家カレー子、こっちゃん 展示/こがねいパレットに賛同する団体

第33回こがねいパレット

実行委員会（五十音順）

◎川原 美紀 齋藤 瞳 芝山 未佳 ○須加 佳苗 ○杉井 亜紀子
園田 理恵 前沢 しき子 矢部 響子 山本 紘衣 吉田 孝

（◎委員長 ○副委員長）

参加団体（五十音順）

保育サポーターグループ「アンファン」	聞いてきいての会
小金井子育て・子育て支援ネットワーク協議会	NPO 法人 こがねい子ども遊パーク
小金井市子ども家庭支援センターゆりかご	公益社団法人 小金井市シルバー人材センター
こがねい女性ネットワーク	小金井玉川上水の自然を守る会
マザーズハローワーク立川	子育て支援&多世代交流サロン「みんなの家」
NPO 法人 木馬の会 小金井おもちゃライブラリー	NPO 法人 らくビット

手話通訳 小金井市登録手話通訳者連絡会

保 育 高橋 原田

ポスター・記録集表紙デザイン 芝山 未佳

※古紙を配合しています。

平成8年12月3日
告示第99号

男女平等都市宣言

私たちは、誰もが人間として尊ばれ、また、自らの個性にあった生き方を自由に選択できる社会を願っています。

そのため、個人の尊厳と両性の平等を基本理念として社会的、文化的、歴史的な性差を排し、職場、家庭、学校、地域などすべての領域での真の平等をめざして、ここに「男女平等都市」を宣言します。

- 1 私たちは、人権を尊重し、互いの性を認め支えあい、いきいきと充実した人生がおくれる男女平等の「小金井市」をめざします。
- 1 私たちは、一人ひとりが共に個性や能力を発揮し、社会のあらゆる分野に男女が共同参画できる「小金井市」をめざします。
- 1 私たちは、男女が共にかげがえのない地球の環境を守り、平和と平等の輪を世界へ広げる「小金井市」をめざします。

第33回こがねいパレット記録集

令和2年（2020年）3月

発行 小金井市
編集 第33回こがねいパレット実行委員会
企画財政部企画政策課男女共同参画室
〒184-8504 小金井市本町6丁目6番3号
電話 042（387）9853